



# ベネディクト

2017年3月1日発行  
(毎月1回1日発行)

谷山カトリック教会

891-0113  
鹿児島市東谷山2-33-13

TEL 099-268-2084  
FAX 099-284-5738

E-Mail: taniyama-cc@lagoon.ocn.ne.jp URL: <http://www5.ocn.ne.jp/~tycc/>

発行人： 頭島 光 神父 編集委員： 太田勇二郎 Sr.下川千穂子 岸誠之助

## 共に暮らす家を大切に

「出向いていく教会になる」。これは私たち谷山共同体のこの二年間のテーマでした。これからの新しい二年間では「共に暮らす家を大切に」を掲げ歩いていきたいと思えます。「共に暮らす家」とは、文字通り、兄弟姉妹、そして家族が共に暮らす家を指します。大きな枠で考えると、それはこの地球です。人は地球を一步外に出て別の惑星に住むことはできません。だから、戦争のない平和な世界を子々孫々に伝え、守り、大切にしましょう。私たち皆の家、地球を大切にする、それこそまさにエコロジーです。

### エコロジー

エコロジーは別に今に始まった新しい言葉でなく昔からありました。ただ戦後、世界の人口が急激に増加し、食料危機から貧困問題が起こり、そしてついに環境を破壊し、汚染を放置したのです。世界が共にこれらの問題に向き合い、地球環境を共に考えるようになったこと、それがエコロジーです。言葉の意味を訳せば節約であり、儉約ですが、もっと分かり易く言えば、できるだけ小さなエネルギーで多くの人に益をもたらすことではないでしょうか。元々、エコとは「家」、つまり、「共に暮らす」場所を指す言葉です。今、この「共に暮らす家」は、これまで随分と乱暴にまた無駄に使われ過ぎたため、まさに壊れかけているのです。

### 福音的セラピー

現代は癒しを必要としています。癒しが必要なのは世界全体が病んでいるからです。現代世界は心の病に怯えています。身体的な病と違い、心の病はその原因を特定できません。実は、この心の病を癒すことこそエコロジーと言えます。心の闇を照らす光があるとすれば、それは各地域、地方の民族が元々大地に保存、保有してきた文化的富や文化、そして伝統の中にあります。従って、いかなる科学も宗教もまたこれを損傷するようなことがあってはなりません。ましてやカトリック教会は長い間、神のみ言葉である福音を大切に守ってきました。みことばによる癒しの力をこそ、発揮すべき時に来ているのです。

### 人としての尊厳

今や世界環境は悪化の一途をたどり、結果として「人としての尊厳」を脅かしています。多くの都市環境はその無秩序の結果、交通路を麻痺させ、使い勝手を悪くし、安全性に疎く、必要不可欠なサービスさえ利用させない状況に落とし込んでいます。こうした都市環境にあって、人はもはや尊厳ある営みを続けられません。実際、多くの若年者が劣悪な労働環境に貶められ、人間としての根本的な生活形態の確保さえ叶いません。人間エコロジーは、まさにその意味で、自分たちの身体そのものが守られる環境と、他の生き物たちと共存できる直接的な関りと、その交わりの中に置かれるべきです。

### 自分を捨てて今を生きる

私たちは全能の神からこの命を与えられただけでなく、身体をもいただきました。これが人間エコロジーの根本的発想です。つまり、この私の命と体は、常に他者との出会いを通して価値あるものとして見出され、それゆえに尊ばれるのです。従って、私たちはすすんで他者を一個の人格として受け容れねばなりません。相互に受け容れあうことで互いの尊厳を高めあうことに寄与するからです。そこで、私たちは他者を受け容れようとしない愚かな自分を捨て、同時に、この世界が他者と分かち合うために与えられた大切な家であることに強く目覚めて、今を生きる必要があるのです。

主任司祭 頭島 光 神父

# 今月の聖人から

# 聖ヘンリー・スーツ

## 3月2日

ヘンリー・スーツは1295年スイスで生まれ、15歳の時、コンスタンス市のドミニコ会修道院に入りました。そこで、非常に苦しい霊的生活を経験し、神との神秘的な一致によって心の平和を得ることが出来ました。彼は偉大な説教家で多数の改宗者を迎え入れましたが、嫉妬心に燃えた敵も大勢いて彼を苦しめました。



ある日、一匹の犬が一枚の布をくわえて遊んでいるのを見て、スーツは次のように書きました。「この布は、犬のしたい放題勝手にさせている。酷く取り扱われてもいるのだ。お前もこの布と同じようにしなければならない。誰かが見下げたり、唾を吐きかけても、おとなしく受け入れなさい。」彼は、その布を取って小聖堂の自分の椅子に掛け、謙遜の徳の印としました。彼は1365年ドイツのウルムで帰天しました。

言われませんでした。イエズスがわたしたちに言われたことは、「あなたの十字架を背負いなさい」です。昔の師父の苦業、またはイエズスの苦業を真似てはいけません。あなたの罪を償うために、あなたの弱い健康が許す範囲で、命を短くすることなく、適度の苦業を行いなさい。神はご自分の友達を鍛えるために、種々の十字架を準備しておられます。神が、このような苦業よりも、もっと苦しい十字架をあなたにお与えになるかもしれませんが、私は神にお任せします。その十字架が来た時には、忍耐をもって受け入れなさい。

聖ヘンリー・スーツ 「霊的娘への手紙」

主イエズスは「私の十字架を背負いなさい」とは

## Taniyama CC NEWS

当教会では、3月18日  
(土)夜 19:00 と3月19日  
(日)朝 9:00 のミサが黙想会  
のミサになります。ご指導は 井田明神父様です。四  
旬節を、そして復活節をより良く準備して迎えらるよう  
に、全員参加を希望します(主任司祭)。

### 新刊書のご案内

- ☆「教皇フランシスコ 回勅 ラウダート・シ  
(LAUDATO SI') - とともに暮らす家を大切に」  
カトリック中央協議会 (¥1400+税)
- ☆「ユスト高山右近」  
古巣馨 著 ドン・ボスコ社 (¥700+税)
- ☆「声に出して読みたい旧約聖書(文語訳)」  
齋藤孝 著 草思社 (¥1500+税)

### 維持費袋

「私たちの教会は  
私たちの手で」

教会維持費を負担することは  
私たち信者の義務です。  
各々の分に応じて捧げましょう。

#### 教会維持費

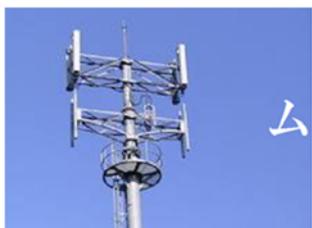
各自が分に応じて毎月一定金額を教会運営・管理  
と宣教司牧などの経費のために捧げる献金です。  
初物を捧げる心で月々献金しましょう。

#### 施設営繕費

聖堂や信徒会館等の建物の修理、設備の拡充、  
備品の購入などのための献金です。

#### 神学生養成費

司祭を目指す神学生の育成のための献金で  
全額教区へ送金されます。



## ムイベルガ神父のアンテナ

### 家族は愛の学校

“三月のペンテコステのために、どんなテーマについて書けば良いだろうかという問に対して、AGAPAE(愛)についてはどうかという返事を頂きました。この答えは私を驚かせましたが、同時に喜ばせました。何故でしょうか。現在の日本の社会で広く考えられている 愛 について、関連づけしたお話を少ししてみたかったからです”。

聖パウロは、コリントの人々への第一の手紙(13・4-7)に、AGAPAE の特徴を説明しています。パウロは愛の説明のために AGAPAE という言葉を使っていますが、愛の他の言葉(philia, eros)は避けています。AGAPAE は選択する愛ですが、philia は友情や晩餐会などの社会的な愛。Eros は感性的な喜びを表しています。神様の愛には AGAPAE が一番ふさわしい言葉なのです。神の愛の目的は人間の救いです。これを実現するために、人間の中から協力者を、例えば預言者が選ばれました。パウロはこの選ぶ愛(AGAPAE)の12の特徴をその手紙の中に列挙しました。

『愛は親切です、妬みません。愛は自慢せず、高ぶりません。愛は礼を失せず、自分の利益を求めず、イラ立たず、恨みを抱きません。愛

は不正を喜ばないで、真実を喜びます。愛は忍耐強く、全てを信じ、全てを望み、全てに耐え忍びます。』

妬みは AGAPAE と対立しています。パウロはこの言葉を選んで、この問題に注目させるようにしました。コリントの信徒たちの妬みと争いは、パウロに愛の賛歌を書きかけを与えました。真の愛は他の人の成功を高く評価し、その人の才能を称賛します。しかしこれに反して、妬みは相手が自分の地位を脅かすものとしてみえています。

これと関係があるのは、モーセの十戒の掟です。『お前の隣人の妻をむさぼり求めてはならない。隣人の家、畑、男女の奴隷、牛、ろば、又隣人の持ち物は何であれむさぼり求めてはならない。』

